

【H30-11】

フェンタニル舌下錠の安全性および有効性に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

2014年6月1日から2018年7月31日までに当院でアブストラル舌下錠を処方され、かつ使用された方

2. 研究目的・方法

目的：フェンタニル舌下錠の安全性および有効性を検討することです。

方法：当院緩和ケア科所属の研究担当者が、対象となる方の診療記録（カルテ）や処方記録・検査データなどの情報を基に調査・集計します。新たな診療や検査の必要はありません。

研究期間：2019年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診断名、年齢、性別、既往歴、治療歴等診療情報録（カルテ）に記載されている情報、オピオイドの処方・服薬記録、検査データ 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

J R 東京総合病院 緩和ケア科

住所：東京都渋谷区代々木 2-1-3

電話：03-3320-2210（代表）

担当者： 春日高穂 （緩和ケア科 医長）

-----以上